

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	コミュニケーション	
科目基礎情報							
科目番号	4C1040			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	物質工学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	Best Practice for the TOEIC L&R Test (成美堂)						
担当教員	松尾 秀樹						
到達目標							
① TOEIC受験に必要な語彙力を増強するため様々な活動に取り組み、その語彙を使用できるようになる。(C3) ② 既習の文法項目を復習する様々な活動に取り組み、その文法項目を使用できるようになる。(C3) ③ 日常的に使われるレベルの英語を聞いてその概略を把握することができる。(C3) ④ 日常的に使用されるレベルの英文を読み、その大意を把握することができる。(C3) ⑤ 自らの英語力向上を目指し、自主的に自学自習に取り組むことができる。(C3)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 (到達目標①)	日常的に使用される語彙を十分に使用することができる。			日常的に使用される語彙を最低限使用することができる。		日常的に使用される語彙をほとんど使用することができない。	
評価項目2 (到達目標②)	日常的に使用される文法を十分に使用することができる。			日常的に使用される文法を最低限使用することができる。		日常的に使用される文法をほとんど使用することができない。	
評価項目3 (到達目標③)	日常的に使われるレベルの英語を聞き、その概要が十分に理解できる。			日常的に使われるレベルの英語を聞き、その概要が最低限理解できる。		日常的に使われるレベルの英語を聞いても、その概要がほぼ理解できない。	
評価項目4 (到達目標④)	日常的に使用されるレベルの英文を時間をかけずに読み、大意を十分に把握することができる。			日常的に使用されるレベルの英文を時間をかけずに読み、大意を最低限把握することができる。		日常的に使用されるレベルの英文を時間をかけても読めず、大意もほとんど把握することができない。	
評価項目5 (到達目標⑤)	自らの英語力向上を目指し、自主的に自学自習に取り組むことができる。			自らの英語力向上を目指し、ある程度自学自習に取り組むことができる。		自らの英語力向上を目指すことなく、ほとんど自学自習に取り組むことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 C-3 JABEE a JABEE f							
教育方法等							
概要	読解能力とリスニング能力を、TOEIC教材を用いて育成していく。また、英語力の土台となる語彙力増強に取り組む。						
授業の進め方・方法	予備知識：高専3年生までに蓄えた英語に関する知識と、実用英語検定試験準2級合格レベルのリスニング能力 講義室：各H R 教室 授業形式：講義・演習。この科目は学修単位のため、事前・事後学習用としてテキストの予習・復習を行ってもらいます。また、プリント教材も配布する予定です。テキストの書き込み具合やプリントの取り組みも評価に加えます。教科書付属のTESTUDYを使って、自学自習も行ってください。TESTUDY取り組み具合も評価に加えます。 学生が用意するもの：英和辞書（電子辞書を含む）、配布プリント						
注意点	評価方法：前期中間試験・前期期末試験に関しては、試験（80点）（C3）+ 提出物やTESTUDYの取り組み(20点）（C3）で評価する。2回の定期試験の平均が60点以上で合格とする。 自己学習の指針：英語力やリスニング力向上のため、各自、付属のe-learning（TESTUDY）やダウンロードできる音声を使って意識的に学習に励み、また、予習・復習に努めること(C3)。 オフィスアワー：各授業前後						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス Lesson 1 Restaurants (GR:人称代名詞)		・ 授業及びTOEICの概要を理解できる。 ・ 演習を通して既習の文法・語彙を復習し、問題を解く上での対処法の基本を習得できる。 ・ ディクテーションおよび音読を通して、ナチュラルスピードの音声に慣れることができる。		
		2週	Lesson 1 Restaurants (GR:人称代名詞), Lesson 2 Entertainment (GR:不定代名詞)		・ 演習を通して既習の文法・語彙を復習し、問題を解く上での対処法の基本を習得できる。 ・ ディクテーションおよび音読を通して、ナチュラルスピードの音声に慣れることができる。		
		3週	Lesson 2 Entertainment (GR:不定代名詞)		・ 演習を通して既習の文法・語彙を復習し、問題を解く上での対処法の基本を習得できる。 ・ ディクテーションおよび音読を通して、ナチュラルスピードの音声に慣れることができる。		
		4週	Lesson 3 Business (GR:現在・過去の時制)		・ 演習を通して既習の文法・語彙を復習し、問題を解く上での対処法の基本を習得できる。 ・ ディクテーションおよび音読を通して、ナチュラルスピードの音声に慣れることができる。		
		5週	Lesson 3 Business (GR:現在・過去の時制)		・ 演習を通して既習の文法・語彙を復習し、問題を解く上での対処法の基本を習得できる。 ・ ディクテーションおよび音読を通して、ナチュラルスピードの音声に慣れることができる。		
		6週	Lesson 4 The Office (GR: 現在完了)		・ 演習を通して既習の文法・語彙を復習し、問題を解く上での対処法の基本を習得できる。 ・ ディクテーションおよび音読を通して、ナチュラルスピードの音声に慣れることができる。		

		7週	Lesson 4 The Office (GR: 現在完了)	・演習を通して既習の文法・語彙を復習し、問題を解く上での対処法の基本を習得できる。 ・ディクテーションおよび音読を通して、ナチュラルスピードの音声に慣れることができる。
		8週	Lesson 5 Telephone (GR:前置詞 [時・期間])	・演習を通して既習の文法・語彙を復習し、問題を解く上での対処法の基本を習得できる。 ・ディクテーションおよび音読を通して、ナチュラルスピードの音声に慣れることができる。
	2ndQ	9週	Lesson 5 Telephone (GR:前置詞 [時・期間])	・演習を通して既習の文法・語彙を復習し、問題を解く上での対処法の基本を習得できる。 ・ディクテーションおよび音読を通して、ナチュラルスピードの音声に慣れることができる。
		10週	中間試験	
		11週	中間試験の返却 ・ Lesson 6 Letters & E-mails (GR:前置詞 [位置・場所])	・演習を通して既習の文法・語彙を復習し、問題を解く上での対処法の基本を習得できる。 ・ディクテーションおよび音読を通して、ナチュラルスピードの音声に慣れることができる。
		12週	Lesson 6 Letters & E-mails (GR:前置詞 [位置・場所]) ・ Lesson 7 Health (GR:数量形容詞)	・演習を通して既習の文法・語彙を復習し、問題を解く上での対処法の基本を習得できる。 ・ディクテーションおよび音読を通して、ナチュラルスピードの音声に慣れることができる。
		13週	Lesson 7 Health (GR:数量形容詞)	・演習を通して既習の文法・語彙を復習し、問題を解く上での対処法の基本を習得できる。 ・ディクテーションおよび音読を通して、ナチュラルスピードの音声に慣れることができる。
		14週	Lesson 8 The Bank & The Post Office (GR:自動詞と他動詞)	・演習を通して既習の文法・語彙を復習し、問題を解く上での対処法の基本を習得できる。 ・ディクテーションおよび音読を通して、ナチュラルスピードの音声に慣れることができる。
		15週	Lesson 8 The Bank & The Post Office (GR:自動詞と他動詞) ・ 総復習	・演習を通して既習の文法・語彙を復習し、問題を解く上での対処法の基本を習得できる。 ・ディクテーションおよび音読を通して、ナチュラルスピードの音声に慣れることができる。
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0